令和４年度「幼稚園学校評価」結果公表シート

２０２３年３月３１日
学校法人大分カトリック学園
カトリック坂ノ市幼稚園

当園では令和４年度の「幼稚園学校評価」として、教職員の自己評価及び学校関係者評価を行いました。職員一人ひとりは一年間の働きを繰り返して自己を見つめなおし、それぞれの反省を通して今年度の成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることが出来ました。この結果を深く受け止め更なる教育活動の充実・環境の整備・資質向上に努めていきたいと思います。

１．　カトリック坂ノ市幼稚園の教育の基本方針

○　教育理念

「神様を愛し、周りにいる人々を自分のように愛しなさい」と教えるキリストの教えに基づいて、その教えを生かす教育、保育を行うこと。

○　教育目標

キリスト教の教えを基盤とし、モンテッソーリ教育法による縦割り保育の中で、全人格的成長を目指す。

○　教育指針

・キリスト教の教えに根ざした教育（賛美と感謝のこころ）

人はみな、神の愛によって創造され、かけがえない「いのち」を与えられていることを知り、神への賛美と恵みに感謝する心を育てます。

・一人ひとりを大切にする（思いやりのこころ）

子どもは、一人ひとり内部に一生を支配する、ある可能性を秘めている小さな生命です。その生命に尊敬と愛をもって関わります。自分の気持ちを分かってもらった子は、人の生命を大切にし、自分が尊重された子が、他人を尊重しようとします。

・感性を育て、創造性を豊かにする（努力するこころ）

一人ひとりの個性の伸長を図り、幼児が主体的に活動できるよう室内環境に心を配ります。活動を通して感性を育て創造性を豊かにし、充足感を味わい、自立できるよう援助します。

・社会貢献への自覚と態度を培う（奉仕するこころ）

活動を通して充実感を味わい、自立した子どもはゆとりが出来、自然に周りに心を配り、助け合い、協力し合うことが出来ます。小さな社会で育った子の精神は、やがて大きくなって平和を愛し、豊かなこころをもって社会の建設に貢献する人間へと育っていきます。

2.　今年度のスローガン

今年度のカトリック坂ノ市幼稚園では、要覧において、掲げられている教育理念・教育目標・教育指針を生かせるために、以下のようにスローガンを設定しました。

＊『意識した行動』

わたしたちの働きの中に含まれているいろいろな意味を大切にし、子どもたちのためにも改めて職員の行動を意識して動くように目標を決めました。実際に行動はすべて意味があるものでしょう。なので子ども一人ひとりに関わる時にさらに子どもたちの成長はわたしたち個人の成長のためにも細かいところまで意識してよいと思っていることを実際行うように頑張るため、今年の目標として『意識した行動』と決めました。

3.　　学校評価に関わるアンケート結果

(1) 教育方針(教育課程・指導)

	チェックの内容・設問	自己評価
1	◎ 園の教育理念(教育目標)を理解しているか。 〔評価基準〕 A.　園の教育理念(教育目標)を理解している。 B.　園の教育理念(教育目標)を理解しているが、保護者や第三者への説明は不十分である。 C.　園の教育理念(教育目標)をあまり理解していない。	A
2	◎ 園の教育理念(教育目標)を達成するための保育や幼児との関わりができているか。 〔評価基準〕 A.　十分な保育ができている。　B.　ややできている。 C.　あまり十分ではない。　D.　できていない。	B
3	◎ 幼稚園教育要領を理解しているか。 〔評価基準〕 A.　幼稚園教育要領を理解している。 B.　幼稚園教育要領を理解しているが、幼稚園での活用は不十分である。 C.　幼稚園教育要領をあまり理解していない。	A
4	◎ 園の教育方針や教育課程を理解し、その課程のもとに保育の計画を立てているか。 〔評価基準〕 A.　園の教育方針や教育課程をよく理解し、その課程に基づいて保育の計画を立てている。 B.　園の教育方針や教育課程を理解しているが、その課程に基づいて保育の計画を立てるのは不十分である。 C.　園の教育方針や教育課程をあまり理解していない。	A
5	◎ 長期の指導計画はマンネリ化しないよう、常に見直しを行い、幼児の実態や周囲の状況の変化に対応できるように作成しているか。 〔評価基準〕 A.　十分できている。　B.　ややできている。 C.　あまり十分ではない。　D.　できてない。	B
6	◎ 短期の指導計画は幼児の実態に合わせて、変更できるような順応性のあるものにしているか。 〔評価基準〕 A.　十分できている。　B.　ややできている。 C.　あまり十分ではない。　D.　できてない。	A
7	◎ 自分の保育と計画の評価・反省を行うようにし、より良い保育の環境を作っているか。 〔評価基準〕 A.　十分できている。　B.　ややできている。 C.　あまり十分ではない。　D.　できてない。	B

8	◎ 園児の発達や生活を見通して環境構成をしているか。 〔評価基準〕 A. 十分できている。　B. ややできている。 C. あまり十分ではない。　D. できてない。	A

(2) 健康と安全管理

	チェックの内容・設問	自己評価
1	◎ 幼児教育に関わる教師として自己管理が大事であることを自覚し、自分自身の健康管理を行っているか。 〔評価基準〕 A. 自己管理と健康管理を十分している。　B. ややできている。 C. あまり十分ではない。　D. できてない。	A
2	◎ 朝の登園時は特に視診を大切にして幼児の体調が悪くないかを確かめているか。 〔評価基準〕 A. 毎朝、園児の様子をチェックし適切な対応をしている。　B. ややできている。 C. あまり十分ではない。　D. 忙しくてできてない。	A
3	◎ 疾病予防や衛生管理のため工夫しているか。(すべての感染症のことについて) 〔評価基準〕 A. 十分な工夫している。　B. やや工夫している。 C. あまり十分ではない。　D. できていない。	A
4	◎ 薬品の取り扱いに十分配慮し、適切に使用できるよう工夫しているか。 〔評価基準〕 A. 十分配慮し、工夫している。 B. どちからといえば配慮しているし、工夫している。 C. 不十分なところがある。	A
5	◎ 万一事故やケガが発生した場合は、園長に報告し、保護者に連絡をとり、医師に見てもらうなど適切な処置を行うことができるように工夫しているか。 〔評価基準〕 A. すぐ報告し、必要な処置を行うことができるよう工夫している。 B. やや工夫している。 C. あまり十分ではない。	A
6	◎ 園内に危険な個所がないかどうか、危険な遊び方はないか、活動が年齢や能力に対して危険ではないかなどを常に観察しているか。 〔評価基準〕 A. 毎日チェックし、危険ではないかどうかを注意深く観察している。 B. やや行っている。 C. あまり十分ではない。	B

7	◎ 園庭は常に整備されていて、室内は清潔で整理整頓が行き届いているか。 〔評価基準〕 A. 常に行き届いている。 B. どちらかといえば行き届いている。 C. 不十分なところがある。	**A**
8	◎ 新型コロナウイルスやオミクロン株など感染症のことを正しく理解し、感染予防のために出された幼稚園のマニュアルをしっかり守っているか。 〔評価基準〕 A. 毎日新しい情報や園のマニュアルをチェックし感染予防のためしっかり守っている。 B. やや守っている。 C. まだ、理解できず不十分である。	**A**

(3)人間関係

	チェックの内容・設問	自己評価
1	◎ 子供たちが自分で行動することの充実感を味わえるような援助を行っているか。 〔評価基準〕 A. 十分に援助を行っている。　B. やや援助を行っている。 C. あまり援助を行っていない。　D. 援助を行っていない。	**B**
2	◎ 相手の思いや気持ちに気付いていけるような援助や機会を設けているか。 〔評価基準〕 A. 援助や機会を設けている。 B. 援助は行っているが、積極的には機会を設けてはいない。 C. あまり援助や機会を設けていない。 D. 援助や機会は設けていない。	**A**
3	◎ 園生活における望ましい習慣や態度を身に着けるための指導を行い、機会を設けているか。 〔評価基準〕 A. 十分に指導を行い、機会を設けている。 B. どちらかといえば指導を行い、機会を設けている。 C. 指導は行っているが、積極的に機会は設けていない。 D. あまり援助や機会を設けていない。　E. 援助や機会を設けていない。	**B**
4	◎ 地域の人や高齢者などと関わり、愛情や信頼感を持てるように工夫しているか。 〔評価基準〕 A. 十分に工夫している。　B. やや工夫している。 C. あまり工夫していない。　D. 工夫していない。	**C**

5	◎園児の理解のために保護者と話し合い、園児の姿を多面的に理解するようにしているか。 〔評価基準〕 A.　よく保護者と話し合い、園児の姿を多面的に理解するようにしている。 B.　保護者とよく話しているが、園児の姿を多面的に理解することは難しい。 C.　園児の姿を多面的に理解するように努力しているが、保護者とはあまり話し合っていない。 D.　あまりできていない。	**B**
6	◎ 園児のことについて常に保育者同士で話し合い、クラス、学年を超えて情報を共有しているか。 〔評価基準〕 A.　常に保育者同士で話し合い、園児の情報を共有している。 B.　やや行っている。 C.　あまりできていない。	**A**

(4)環境

	チェックの内容・設問	自己評価
1	◎ 子供たちの成長のためには保育の環境が大事であることを理解しているか。 〔評価基準〕 A. よく理解している。　B. やや理解している。 C. あまり理解していない。	**A**
2	◎ 子供たちが自発的に活動したり、遊べる環境が整備されているか。 〔評価基準〕 A. よく整備されている。　B. やや整備されている。 C. あまり整備されていない。　D. 整備されていない。	**A**
3	◎ 子供たちが使用する教具を理解し、年齢に応じて活用しているか。 〔評価基準〕 A.　よく理解し、活用している。　B. 理解しているが、あまり活用できていない。 C. あまりできていない。	**B**
4	◎ 子供の遊びや活動が発展するヒントやアイデアを工夫し、提供しているか。 〔評価基準〕 A. 十分に工夫し、提供している。　B. やや工夫し提供している。 C. あまり工夫や提供していない。	**B**

(5)言葉や表現

	チェックの内容・設問	自己評価
1	◎ 子供たちが自分の気持ちを自分なりに表現するとき、それをきちんと聞き、受け止めているか。 〔評価基準〕 A. 十分に聞き、受け止めている。　B. ある程度、受け止めている。 C. 話は聞いているが、受け止めていない。	A
2	◎ 毎日、子供たち一人一人との会話の時間を設けているか。 〔評価基準〕 A. 毎日、子供たち一人一人に声をかけ会話の時間を設けている。 B. できるだけ一人一人に声かけて会話を設けようとしている。 C. 声かけることが不十分である。	B
3	◎ 子供たち自身が友達同士で話し合えるように工夫し、配慮しているか。 〔評価基準〕 A. 工夫し、配慮している。　B. やや工夫し、配慮している。 C. 工夫や配慮が不十分である。	A
4	◎ 生活や遊びの中から出てきた子供たちの言葉を聞いて、子供たちの様子を把握するように心がけているか。 〔評価基準〕 A. 日常生活の中で子供たちの話に耳を傾け、その子の様子を把握するように心かけている。 B. やや話を聞いて把握できるようにしている。 C. あまりできていない。	A
5	◎ 子供一人ひとりの良さを認め、ほめたり、励ましたり、めあてを持たせるような言葉かけをしているか。 〔評価基準〕 A. 一人ひとりの良さを認め、よくほめたり、励ましたり、めあてを持たせるよう話しかけている。 B. やや行っている。　C. あまりできていない。	A
6	◎ 子供たちが生活の中で様々な音、色、手触り、動きなどに気付いたり、楽しんだりできるように工夫をしているか。 〔評価基準〕 A. 十分工夫されている。　B. やや工夫されている。 C. あまり工夫されていない。　D. 工夫されていない。	B
7	◎ 園生活の中で子供たちが音や動きで表現できるような雰囲気や機会が設けられているか。 〔評価基準〕 A. よく表現できるような雰囲気や機会が設けられている。 B. ある程度、表現できるような雰囲気や機会が設けられている。 C. あまり表現できる雰囲気や機会が設けられていない。	B

8	◎ 子供たちの作品を工夫して飾るなど、丁寧に扱っているか。 〔評価基準〕 A.　子供たちのすべての作品を丁寧に扱っている。 B.　どちらかといえば丁寧に扱っている。 C.　あまり丁寧に扱っていない。	**A**

(６)研修

	チェックの内容・設問	自己評価
1	◎ 積極的に研修会などに参加し保育者としての資質の向上を目指しているか。 〔評価基準〕 A.　保育者としての資質の向上に努力している。 B.　やや努力している。　C.　努力しているが十分ではない。	**B**
2	◎ 専門書や雑誌を読むなど、保育技術を高めるための努力をし、習得したことを実際の保育に生かせているか。 〔評価基準〕 A.　習得したことを実際の保育に生かせている。 B.　習得したことをほぼ実際の保育に生かせている。　C.　努力しているがまだ不十分である。	**C**

(7)家庭や地域の連携

	チェックの内容・設問	自己評価
1	◎ 子供たちの様子や育ち・保育などを保護者に分かりやすく伝えるよう工夫しているか。 〔評価基準〕 A.　十分工夫している。　B.　やや工夫している。 C.　あまり工夫していない。	**A**
2	◎ 保護者の質問や意見を聞くなど情報交換をし、幼稚園と家庭が子供たちの望ましい発達を促すための生活について考えていけるような連携が取れているか。 〔評価基準〕 A.　常に情報交換が行われ、子供たちの望ましい発達のために家庭との連携が取れている。 B.　十分ではないが、情報交換をし、連携している。 C.　あまり情報交換ができないし、連携できていない。	**B**
3	◎ 地域の方々と親しくあいさつや会話を交わしているか。 〔評価基準〕 A.　地域の方々と会うたびに親しくあいさつや会話を交わしている。 B.　やや親しみを持って挨拶している。 C.　あまりあいさつや会話を交わすことができていない。	**A**

4	◎ 小学校との連携をとり、就学に関する問題などを家庭へ情報提供できているか。 〔評価基準〕 A.　三者の連携をとり、就学に向けての配慮を十分にしている。 B.　どちらかといえば配慮している。 C.　不十分なところがある。	**B**
5	◎外部からの連絡や客に対する対応は丁寧にしているか。 〔評価基準〕 A.　来客者や訪問者に対していつも丁寧に対応することが出来ている。 B.　どちらかと言えば丁寧にするよう心掛けている。 C.　不十分なところがある。	**A**

(8)学級運営

	チェックの内容・設問	自己評価
1	◎ 出席簿は毎日正確に記入し、子供の欠席状況などをしっかり把握して、欠席児への配慮も行っているか。 〔評価基準〕 A.　出席簿は記入漏れがなく、欠席児には電話連絡を怠らないようにしている。 B.　出席簿は正確に記入しているが、欠席児への配慮はできていない。 C.　出席簿は記入漏れが時々あり、欠席児への配慮も十分ではない。	**A**
2	◎ 毎日のクラスの様子を記録し、気になることや出来事などを園長や副園長、主任に報告、連絡、相談しているか。 〔評価基準〕 A.　毎日漏れなく日誌を記録し、気になることを園長や副園長、主任に報告、連絡、相談している。 B.　日誌は記録しているが、気になるところはあまり報告、連絡、相談していない。 C.　日誌の記録の漏れが時々あり、報告、連絡、相談していない。	**A**
3	◎ 一人ひとりの子供の心身の状況を把握し、配慮しながら保育しているか。 〔評価基準〕 A. 十分配慮ができている。　B. ほぼ配慮ができている。 C. 不十分なところがある。	**B**
4	◎ 園からの配布物(手紙やお知らせなの)をよく理解し、決められた期日に配布しているか。 〔評価基準〕 A.　良く理解し、配布している。 B.　良く理解できず、配布している。 C.　良く理解しているが、配布していないことがある。 D.　良く理解できず、配布していないこともある。	**A**

4.　学校関係者評価

このような世情の中、幼稚園の先生方はこれまでのような幼稚園行事が出来ないということを受け入れ、”やる、やらない”と常に考えてくださっていたと思います。

保護者としては、ついついこれまで通りの園行事を希望してしまいがちですが、コロナ禍に加え、家庭の状況や家族の形も変化してきている今、少しずつ形を変え、今できるものを最大限の努力で子どもたちに伝えてくださる先生方の姿にただただ感謝の気持ちでいっぱいです。各行事毎の保護者アンケートの評価や園全体への評価が高いのも、その成果ではないかと思います。

新年度からは、“こども園”というまた新しい形になろとしている幼稚園ですが、これまでの先生方の子どもたちに対する愛情と努力される姿を知っているので、安心してお任せできます。今後もこれまで通りの丁寧な対応、わかりやすい説明に徹底していただき子供たちはもちろん、保護者も安心して預けられる、信頼できる幼稚園であってほしいと思います。

5.　近所の方々からの評価

「幼稚園通信」と「保険だより」は非常に良くできていて内容も素晴らしいものがあり、良いと思います。

これからも引き続き、お願い致します。

先生方へのアンケートや父兄へのアンケートハ円としての方針を十分理解してもらっている内容でよいと思います。

先生方は毎年同じ部分で‘C’評価をしているところは今後の課題としてご検討願います。

コロナの影響も今後すっくなくなり、行事に対して先生方の責任が大きくなりそうですが、内容を検討し、行事を増やさず減らして、内容の濃いものにしてはどうでしょうか。

先生方、父兄の負担が少しでも軽くなるようにご検討願います。

6.　今年度の反省と今後取り組むべき課題

今年度のカトリック坂ノ市幼稚園はスローガンとして『意識した行動』と決めた。幼稚園で働いているわたしたち一人ひとりが様々な事を意識しながら

、また他の人がやってくれる事を待たずに自ら動くこと、積極的にいろいろな事に気付きながら、気付いたところで動くような存在になるようこのスローガンを決め、一年間行ってきた。

今年度の初めから新型コロナウイルスの為、通常通り幼稚園に登園することが出来ず、沢山の寂しい思いをしたが、このような大変な時期でも先生たちもまた、子どもたちもお互いに相手の気持ちを考えながら過ごしており、限られている環境の中でも自分でできることや幼稚園でできることを積極的に探しながら過ごしていた。

今年度の教育方針の自己評価は良くできているところも多かったが、そのうちにいくつが足りないところがあり、今後の課題として考えなければならない。特に保護者との関わりや、近所の方々との関わりをより広め、より深める必要があることを感じた。また、保育に関する専門知識をさらに高めるため、専門書籍を読むことや研修会を積極的に参加し、習得したことを自分の働きの中で活かすために努力することを心掛けていく。

今年度は新型コロナウイルスという恐ろしい環境の中でも、何が一番子供たちに大事な事なのか、今子どもたちの成長の為に出来ることなどを考えながら、過ごしていた。　そのため、行事が急に変更されることも多かったが、感染予防の為一人ひとりが守るべきことをしっかり守り、幼稚園でも国の方針をしっかり確認しながら心掛けてきた。様々な危機から子どもたちを守り、できないことに諦めるのではなくできることを探しながら今年度は特にみんなで配慮してきた。まだ、幼稚園の働きの中には足りないところも沢山あったと思うが、その反省を心に留め、来年度はより良い幼児教育のために先生たち一人一人の目標を果たすよう取り組んでいく。